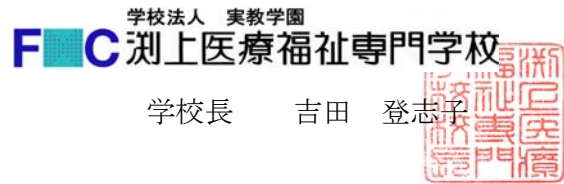


平成 23 年 6 月 吉日

進路指導室（部）御中 進路指導主事 様



学校長 吉田 登志子

心理ソーシャルワーク科 募集停止について

謹啓 立夏の候、貴校ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素より、進学のご指導等格別のご高配を賜り、弊校の学校教育に関するご理解、ご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、弊校では、平成 3 年の開校以来、20 年目の佳節を迎えるにあたり、近年の「医療」や「福祉」を取り巻く環境の多様化、高度化に応えるために、開校の原点でもある「医療」分野への傾倒を強化し、より質の高い医療スタッフの養成に努めるべく、学科編成の見直しを重ねた結果、標記募集停止を行うこととなりました。生徒様の進路の大事なこの時期に、大変申し訳ありませんが、ここにご報告申し上げます。

例えば「医療」の現場では、医師不足解消の打開策のひとつとして、平成 20 年に厚生労働省より打ち出されました「医師事務作業補助職」養成関連など、現場に即応するためのカリキュラム改訂を 3 年制の診療情報管理科、ならびに 2 年制の医療秘書科で実施。また、厳しい経済状況の下、1 年制の医療事務の重要性を鑑みて、カリキュラムの充実等を行って参りました。

一方、「福祉」の現場では、ホームヘルパーに代表されるように、まだまだ介護を中心とした重労働が課せられる厳しい環境下において、標記の 3 年制・心理ソーシャルワーク科では社会福祉士および精神保健福祉士の両福祉士にかかる受験資格の取得とともに、必要な現場理解、長期に渡る実習等の経験をしていただくことの負担の重さ（特に、『精神保健福祉士養成課程における教育内容との見直し』平成 24 年度から改正となり、新カリキュラムの実施で更に難しい資格取得となって参ります。）、国家試験受験資格要件による 1 年間の実務経験を実行しながらの、国家試験対策等、重なる困難さを熟慮検討いたしましたところ、弊校設置の大学卒業者・実務経験者を対象とした社会福祉士一般養成科ならびに精神保健福祉士一般養成科に集約・増員を予定し、標記のように心理ソーシャルワーク科の募集を停止することとなりました。当然のことながら、同科に在籍中の学生におきましては、上記養成科との連携を活かしながら、学生ひとりひとりの学習ニーズを大切に卒後教育まで責任をもって対応いたします。

すでに、心理ソーシャルワーク科では、多数の資料請求、オープンキャンパスへの参加さらに、進路の先生方からのご指導を賜る中、誠に申し訳なく存じます。弊校といたしましても最大のサポートはさせていただきますので、あらためてのご指導、ご鞭撻をいただければ幸甚でございます。

本来、拝眉の上、直接ご説明に努めるべきではありますが、手続きの関係上、この時期のご報告となりましたことを重ねてお詫び申し上げます。まずは、書面にて取り急ぎご報告とさせていただきます、弊校の担当者訪問の折にも重ねてご報告させていただき所存でございます。なにとぞご高承賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴校のますますのご発展を祈念いたします。

謹白

※各高等学校の進路指導主事様宛に、すでにご案内させていただいた文書です。